

平成20年度当初予算のポイント

1 総括

第4次行田市総合振興計画に基づく施策を推進し、市の将来像である「水と緑 個性あふれる文化都市」の実現を目指して、「行田に住んでよかった」と思えるまちづくりを目指すものである。

平成20年度の予算は、厳しい財政状況の中、財政健全化を最優先課題に掲げ、「箱物行政」総点検を初めとする事務事業の見直しや市債残高の削減に取り組む一方、未来を担う子どもたちを育むとともに、「安心・安全で」、「もっともっと元気な」、「新しい」行田を創るため、真に必要な事業に重点配分を行ったところである。

2 予算規模

一般会計予算 238億3,000万円
(19年度 231億円)
(前年度当初比 3.2%増)

特別会計、公営企業会計を含めた総額は、
441億 132万円
(19年度 476億4,045万円)
(前年度当初比 7.4%)

【国】	83兆	613億円
(19年度)	82兆9,088億円	
	(前年度当初比	0.2%増)
【県】	1兆7,182億円	
(19年度)	1兆7,109億円	
	(前年度当初比	0.4%増)
【地方財政計画】	83兆4,014億円	
(19年度)	83兆1,261億円	
	(前年度当初比	0.3%増)
【地方財政計画】 【地方一般歳出】	65兆7,626億円	
(19年度)	65兆7,350億円	
	(前年度当初比	0.0%増)

<参考> 一般会計当初予算規模の推移

(単位：千円、%)

年 度	11	12	13	14	15
金 額	23,880,000	22,888,000	22,380,000	23,688,000	21,610,000
伸 び 率	0.8	4.2	2.2	5.8	8.8
年 度	16	17	18	19	20
金 額	22,383,500	(22,575,000) 21,020,000	23,080,000	23,100,000	23,830,000
伸 び 率	3.6	6.1	(2.2) 9.8	0.1	3.2

H16の数値は、減税補てん債借換額(1,666,500千円)を除いたものである。

H17、H18の()の数値は、旧南河原村を含んだ数値である。

3 歳 出

印は新規事業です。

(単位:千円)

(1) 快適で住みよいまちをつくるための施策

一般市道整備事業(道路改良、舗装新設、側溝整備 他)	300,420
幹線道路整備事業(南河原幹線道路)	27,000
橋りょう新設改良事業(天籟橋・白川戸橋～県営星川河川改良事業に併せ実施)	76,355
排水路等整備事業	129,201
南大通線街路事業	938,153
工業団地通線街路事業	49,182
快適な公園トイレ改修事業(都市公園トイレの水洗化)	17,500
総合公園整備事業(管理事務所改修～ゼリーフライ等売店・食事休憩スペースの整備 他)	23,500
森づくり環境再生事業(親子による植樹祭を開催)	3,000
防犯対策の強化(警察官OBの配置/浮き城のまち安心・安全メールの配信/防犯灯電気料補助を拡充)	29,510
災害に強い安全なまちづくり	
地震ハザードマップの作成	6,000
・ 消防団消防施設整備事業(消防自動車の更新、消防団庁舎の改修)	23,904
・ 地域防災推進事業(自治防災組織設立補助金 他)	10,504
資源リサイクル事業	103,900
上水道事業(南河原地区簡易水道事業を含む)	2,804,585
下水道事業(幹枝線工事、合流改善対策工事、ポンプ場施設修繕工事等)	3,165,140
市内循環バス運行事業(年末・年始を除く毎日運行 1人1回乗車100円 補助方式)	52,184
市営住宅改修等事業(小橋住宅1,2号棟外部改修工事 他)	47,000

(2) 健康で幸せなまちをつくるための施策

子ども医療支給費(通院に係る支給対象者の拡大 小学校就学前まで 中学校就学前まで)	227,500
総合福祉会館運営事業(社会自立支援事業)	38,466
トータルサポート推進事業(福祉部門の総合的な窓口を設置)	1,459
障害福祉計画策定事業	2,885
オストメイト対応トイレ改修事業	680
虐待防止事業(虐待通報用電話 他)	744
いきいきサロン補助事業	2,290
放課後児童対策事業(学童保育室、特別支援学校児童クラブ運営費)	92,103
地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター、つどいの広場)	21,721
次世代育成支援行動計画策定事業	2,740
自動体外式除細動器(AED)設置事業(市立保育園、学童保育室、他)	1,591
不妊治療費助成事業	1,000
乳児産婦訪問指導事業	1,800
妊婦一般健康診査事業(公費負担の拡大 2回 5回)	28,676
市民保養施設利用助成事業(市指定の保養施設 1年度2泊まで)	12,300
後期高齢者医療療養給付費負担金	480,000

(3) 個性を伸ばす教育と文化を育てるまちをつくるための施策

少人数学級の拡充(市費負担教職員28名)	143,786
小学校英語活動推進事業(「元気なぎょうだ」のびのび英語教育事業)	5,260
英語指導助手の配置(12名)	46,080
中学生海外派遣事業(20名)	6,876
情報機器(パソコン)を使った学校教育の充実	116,357
ものづくり大学との連携促進事業	1,500
小中学校寺子屋事業(未来の行田を担う子ども育成事業)	6,000
さわやか相談員・ボランティア相談員の配置(中学校)	14,240
障害児にかかわる補助員及び学校教育指導員の配置	37,181
小中学校施設整備事業	300,449
(東小学校屋内運動場耐震補強及び改修工事、 普通教室等扇風機設置工事(小学校全校) 他)	
世界遺産登録推進事業	4,920
「足袋蔵歴史のまち」・「ぎょうだ歴史ロマンの道」整備事業(文化財保存活用事業)	3,632
市史編さん事業(「行田市史資料編 近代 (大正～昭和前期)」を刊行)	12,865
多目的グランド整備事業(総合公園、下須戸運動場)	42,050

(4) 産業を振興し、豊かなまちをつくるための施策

中小企業者への各種融資資金利子補給事業	2,680
(小口事業資金、商工業振興資金、中小企業経営近代化振興資金、短期事業資金)	
緊急事業所支援事業(通常の借入利率より0.5%引き下げた利率での借入支援)	1,920
企業誘致促進事業(施設設置奨励金、緑地設置奨励金、雇用促進奨励金)	73,297
空き店舗対策等活性化助成事業(商店街地域資源活用事業)	2,246
起業家支援助成事業	9,900
土地改良事業(元荒川上流土地改良区:長野落悪水路、関根落悪水路護岸等、他)	48,717
農道及び用排水路整備事業(市内各所)	92,552
水田農業構造改革生産調整実施者補助事業	13,000
地産地消推進事業(行田在来青大豆普及事業、他)	300
田んぼアート米づくり体験事業	500
B級ご当地グルメフェスティバル開催事業	1,500
蓮フォーラム開催事業	800

(5) その他の施策

男女共同参画推進事業	3,131
市民公益活動推進拠点整備事業	1,114
電子入札制度導入事業	1,312
自治会集会施設建設費補助	13,500
公的資金補償金免除繰上償還(一般会計 367,453、下水道事業費特別会計 840,452)	1,207,905

4 歳 入

- (1) 市税収入は、個人市民税では、税制改正による減収見込みがあることなどから減額、固定資産税では、新增築家屋の増や工業団地への一部企業の進出などによる増等を見込んだ結果、対前年度、1億5,276万2千円(1.3%)の増となった。

<参考> 市税の推移 (単位：千円、%)

年 度	11	12	13	14	15
金 額	10,262,425	9,822,482	9,847,281	9,843,018	9,593,506
伸 び 率	2.0	4.3	0.3	0.0	2.5
構 成 比	43.0	42.9	44.0	41.6	44.4
年 度	16	17	18	19	20
金 額	9,440,713	(9,548,705) 9,300,809	9,901,202	11,429,666	11,582,428
伸 び 率	1.6	1.5	(3.7) 6.5	15.4	1.3
構 成 比	39.2	44.2	42.9	49.5	48.6

H17、H18の()の数値は、旧南河原村を含んだ数値である。

- (2) 地方交付税は、新年度に創設される「地方再生対策費」や合併算定替による影響等を考慮し、地方財政計画の内容を勘案して試算した結果、31億6,000万円の計上(対前年度 1億6,000万円、5.3%増)となった。
- (3) 財源不足を補うため、財政調整基金から4億円(前年度同額)のとりくずしを行うが、将来的な財政運営の観点から、基金全体では、とりくずしを最小限に抑え、対前年度1億5,000万円の減とした。
- (4) 市債は、事業を厳選するとともに合併特例債を初めとした交付税措置のある有利なものを活用する。

合併特例債は、地域振興基金造成事業、南河原地区幹線道路整備事業、各小中学校改修事業、総合公園多目的グラウンド整備事業などへの充当を見込み、計上した。

市債の対前年度比は、公的資金補償金免除繰上償還に係る借換債を除くと、9.1%、市債依存度は、7.8%(対前年度 0.9%)となった。

地方財政計画の地方債依存度 11.5%

<参考> 市債(一般会計)の推移 (単位：千円、%)

年 度	16	17	18	19	20
金 額	2,380,700	1,524,600	2,190,400	2,018,000	2,170,200 (1,835,000)
伸 び 率	19.4	36.0	43.7	7.9	7.5(9.1)
依 存 度	10.6	7.3	9.5	8.7	9.1(7.8)

H16の数値は、減税補てん債借換債(1,666,500千円)を除いたものである。

H20の()は、公的資金補償金免除繰上償還に係る借換債(335,200千円)を除いたものである。

<参考> 市債現在高(一般会計)の推移 (単位：千円、%)

年 度	16	17	18	19(見込み)	20(見込み)
金 額	26,110,106	25,778,625	25,529,157	24,966,177	24,509,859
増 減 額	711,484	331,481	249,468	562,980	456,318
伸 び 率	2.8	1.3	1.0	2.2	1.8